

弘法さんかわら版

発行編集部

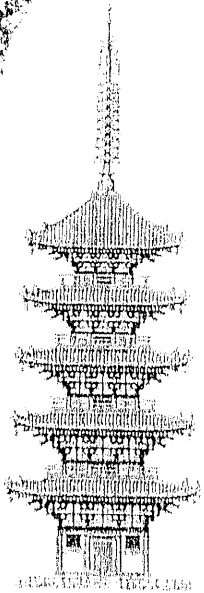
大家相平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-Kouhei.org

「覚王山祭」ってご存知ですか？

皆さん、こんにちは。今月も「弘法さん」の目がやってきました。先月の「弘法さん」と今月の「弘法さん」の合間に、ここ日泰寺の参道では「**覚王山・夏祭**」が開かれました。(七月二十七日、二十八日)。「覚王山祭」は一九九八年から始まり、今年で五年目です。春、夏、秋と三回開かれます。「弘法さん」の日は昔ながらの風情のある出店が皆さんをお迎えしていますが、「覚王山祭」の日はエスニック風、レトロ風のお店が並びます。「へい、知らなかった・・・」という皆さん、「弘法さん」だけでなく、「覚王山祭」にも是非出かけてください。覚王山をますます気に入って頂けることと思います。秋には「**覚王山・秋祭**」を予定してます。ぜひ、お越しください。



「弘法さん」のついでに、ちよと足を延ばしてみませんか！

さて、今回の「弘法さんかわら版」は、皆さんに**鈍薬師**(なたやくし)をご紹介します。鈍薬師は、日泰寺の北西側にあります。堂内には、あの有名な**仏師**(仏像の彫刻師)、**円空**の作った**仏像**が並んでおり、しかも、「弘法さん」の開かれる**毎月二十一日のみ、公開(開扉)**されます。そう、今日です！

鈍薬師の名前の由来は、円空が名古屋城築城の余材を利用して、鈍一本で仏像を彫り上げたことによるものです。そのため、「**円空の「刀彫り」**」とも呼ばれています。ご本尊・薬師仏を囲んで、十二神将と日光菩薩、月光菩薩の二体の脇侍(わきじ)が安置されています。

尾張藩のお医者さん、頼振南(ちようしんぼ)

鈍薬師は、寛文九年(一六六九年)、尾張藩の藩祖・徳川



義直公の御用医師・帳振甫によつて建てられました。帳振甫は明国からの渡来人（帰化人）です。お医者さんが建立したお寺であることから、別名「**医王堂**」とも言われています。近くには、「振甫」の名前があります。「帳振甫」からきているのかもしれませんが。

仏師・円空、三十八歳の時の力作

ところで、円空は寛永九年（一六三二年）、美濃国（現在の岐阜県郡上郡美並村）に生まれました。鉦薬師の仏像を彫つたのは三十八歳の時です。当時の仏師は、今で言えば、**アーティスト、芸術家**のようなイメージがあったようです。新進気鋭のアーティストとして、

帳振甫が円空に仏像作成を依頼しました。鉦薬師の仏像は独特の作風であり、大陸（当時の唐）の仏像に似ているようです。明国から渡来した帳振甫が故郷を思い、円空にお願いしたのかもしれませんが、帳振甫と円空の出会い、依頼の経緯などを調べてみましたが、残念ながらよく分かりませんでした。郷土史に詳しい方がいらつしやいましたら、是非、教えてください。

円空は生涯で十二万体の仏像を彫りあげました。現存する仏像は約三千体、北海道から四国まで日本中に散在していますが、やはり出身地の東海地方にたくさん残っています。元禄八年（一六九五年）七月十五日、岐阜県関市の弥勒寺において、六十四歳でのご入定（他界）されました。合掌。

★第四回につぼんと真ん中祭り 覚王山パレード会場決定！

「名古屋の街を元気に！」
につぼんと真ん中祭りが今年も覚王山においても開催されます。二十九チーム・千五百名が日泰寺・参道（みのや旅館前出発）をパレードします。

日時八月二十五日、午後二時半

～五時半

（交通規制二時～六時）